

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科		
科目名称	健康管理概論					授業形態	講義		
科目コード	304600	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	木村 志緒、谷口 尚大郎								
授業概要	<p>健康管理概論は、「社会・環境と健康」分野に位置付けられている。</p> <p>本授業では、まず、健康に関連する行動（身体活動、喫煙、飲酒、睡眠など）について学習する。</p> <p>次に主要疾患（がん、循環器疾患、代謝疾患、骨・関節疾患、感染症など）の疫学について学習する。</p> <p>さらに社会保障制度、医療制度、福祉制度などについて学習する。【知識・理解を応用し活用する能力】</p> <p>定期試験の評価割合を約50%、残り約50%は授業前後の課題正答率としており、課題提出期限を過ぎた場合は減点するので、スケジュール管理を行って提出遅れのないように注意すること。【自己管理能力】</p> <p>本授業では自分自身が知識を身に付けるにとどまらず、周囲の人と協力して問題の正答を見出したり、他者の苦手なところをサポートしたりといった協調・協働力も身に付けられるよう取り組むこと。【協調・協働力】</p>								
関連する科目	履修前に、公衆衛生学を受講しておくことが望ましい。 履修後に、保健医療福祉システム論を受講することが望ましい。								
授業の進め方と方法	<p>(1) 第2, 3, 5, 7, 9, 11, 13回の構成は下記の通り</p> <p>授業序盤：授業前に回答した例題について周囲の人と意見交換を行う</p> <p>授業中盤：教員による例題解説を聴く 授業終盤：個別対応時間（本日の授業に関する質問、次回分の予習など）</p> <p>(2) 第4, 6, 8, 10, 12, 14回の構成は下記の通り</p> <p>授業の前半：問題20問を解き、ユニパ等で回答番号を提出する。 （本授業では問題を解くスピードを求めるのではなく、思い込みや早合点による誤答を防止することに重点をおくので、回答時間を個別に設定することとする。）</p> <p>授業の後半：教員から解答解説を受け取り、自己採点や振り返りを行ったあと、次回分の予習や定期試験に向けた学習を行う</p> <p>(3) 第15回目：谷口先生による講義を聴く</p>								
授業計画【第1回】	第1回 木村担当：本授業の概要説明、次回の予習								
授業計画【第2回】	第2回 木村担当：身体活動、喫煙 健康づくりのための身体活動基準・指針、喫煙や健康リスク等について学習する								
授業計画【第3回】	第3回 木村担当：飲酒、睡眠、歯科保健 飲酒・睡眠・歯科保健の状況や健康リスク等について学習する								
授業計画【第4回】	第4回 木村担当：確認テスト(1) 第2、3回で学習した事柄についての問題に取り組む								
授業計画【第5回】	第5回 木村担当：がん、感染症 がん検診項目、部位別がん死亡率推移、感染症法に基づく感染症の分類等について学習する								
授業計画【第6回】	第6回 木村担当：確認テスト(2) 第5回で学習した事柄についての問題に取り組む								
授業計画【第7回】	第7回 木村担当：社会保障制度 わが国の医療費の現状等について学習する								
授業計画【第8回】	第8回 木村担当：確認テスト(3) 第7回で学習した事柄についての問題に取り組む								
授業計画【第9回】	第9回 木村担当：地域保健、母子保健、関連法規 保健所と市町村保健センターの違い、母子保健政策の推移、健やか親子21等について学習する								
授業計画【第10回】	第10回 木村担当：確認テスト(4) 第9回で学習した事柄についての問題に取り組む								

授業計画 【第11回】	第11回 木村担当：高齢者保健、学校保健 介護保険制度、学校感染症などについて学習する
授業計画 【第12回】	第12回 木村担当：確認テスト(5) 第11回で学習した事柄についての問題に取り組む
授業計画 【第13回】	第13回 木村担当：産業保健、国際保健 3管理、WHOなどの国際機関などについて学習する
授業計画 【第14回】	第14回 木村担当：確認テスト(6) 第11回で学習した事柄についての問題に取り組む
授業計画 【第15回】	第15回 谷口担当：科学的根拠に基づいた栄養指導を行うために
授業の到達目標	①ユニバにおける課題提出を通してスケジュール管理等の自己管理能力を身に付ける【自己管理能力】 ②国家試験に必要な基礎的な知識および類似問題を解く際に活用できる力を身につける【知識・理解を応用し活用する能力】 ③社会人となった時、管理栄養士として他者と連携し、協調・協働して行動できる力を身に付ける【協調・協働能力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	<学習時間：1時間程度> ①教科書の次回分に該当する範囲を読む。 ②予習スライドを見ながら、教科書にアンダーラインを引いたり、予習スライドの色文字や吹き出し部分を書き込んだりする ③暗記シートの空欄や（ ）部分に赤字等を書き込む ④国試過去問冊子も参照しながら、例題20問を解きユニバで回答番号を提出する（成績に反映されるので高正答率を目指すこと）
授業時間外の学修 【復習】	<学習時間：1時間程度> ①確認テストや定期試験に向けて覚えておくべきことを暗記シートをベースに整理し、インプットする ②1問1答版に取り組む
課題に対する フィードバック	(1) 例題は授業中に解説する (2) 確認テストは回答時間に個人差が生じることを想定して紙媒体で配布する (1) (2) のどちらについても、質問等には授業時間外も含め対応する
評価方法・基準	以下の項目に基づいて総合的かつ相対的に評価する 1) 定期試験：約60% 2) 例題：約10% 3) 確認テスト：約30%
テキスト	カレント 改訂 社会・環境と健康 公衆衛生学（建帛社）
参考書	
備考	